

教科	地歴科	科目(単位数)	歴史総合(2)	学年	3年	類型	普通科
学習目標	<p>・近現代の歴史の変化について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>・近現代の歴史の変化について、意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>・近現代の歴史の変化について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚を深める。</p>						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月 ～ 5月	・経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。	・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 5月 ～ 6月	・第二次世界大戦後の世界と日本	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 6月 ～ 7月	・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 9月 ～ 10月	・グローバル化と私たち グローバル化への問い	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。	・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 10月 ～ 11月	・冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 11月 ～ 12月	・国際秩序の変容と21世紀の世界	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【3学期】 1月 ～ 2月	・現代的な諸課題の形成と展望	・持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。	・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：第一学習社『高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来』						
学習方法	<p>・各単位時間ごとの学習プリを用いた作業学習(講義、発問)</p> <p>・各単位時間ごとにまとめた「日々の課題」で確認</p>						
評価について	<p>各学期ごとの定期考査と平常点</p> <p>・定期考査による評価(8割)・・・【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点別に作問・採点する。</p> <p>・教科の評価基準による平常点(2割)・・・授業取組姿勢・態度、課題取組状況、発問に対し、自らの考えを適切に表現しているか。</p>						